

歴史講演会のご案内（参加無料）

（学制発布150年）

「岐阜の学校事始め

－飛騨・美濃における小学校の開業－」

講師：蓑島一美氏（岐阜県歴史資料館学芸業務専門職）

主催；岐阜県歴史資料保存協会 共催；岐阜県歴史資料館

明治5年（1872）学制の発布により、全国各地で小学校が誕生します。

その中で美濃地域は、官費に頼らず民間の拠出金で学校を設立する義校方式を採用しました。一方、筑摩県下の飛騨は、教育権令永山盛輝のもと、煥章学校・協和学校などを次々と開業しました。飛騨・美濃の教育に対する熱意は、やがて校舎新築という形で結実し、明治11年の北陸東海両道御巡幸で絶頂期を迎えます。

新しい制度を短期間で実現した明治人の活躍にあなたも思いを馳せてみませんか。

蓑島一美(みのしまかずみ)氏
昭和32年10月生まれ

大学卒業後岐阜県の小学校教員となり、平成30年、岐阜市立長森東小学校長を最後に定年退職。この間、『岐阜県教育史』の編集事業に携わる

現在：岐阜県歴史資料館学芸業務専門職
岐阜県歴史資料保存協会副会長
岐阜聖徳学園大学非常勤講師
岐阜県郷土資料研究会幹事
岐阜県古地図文化研究会幹事

専門：民俗・日本近代史・地域史
<著書(共著)>

『岐阜県教育史』史料編近代一（平成10年）、『岐阜県教育史』通史編近代一（平成15年）、『ひだみの文化の系譜』（平成11年）、『ふるさと学校写真帳』（平成19年）、『新修関市史』民俗編（平成8年）、『新修垂井町史』通史編（平成8年）、『各務原の歴史』（平成2年）他多数

◆期日：令和4年10月18日(火)

◆会場：岐阜県図書館 1F 多目的ホール（岐阜市宇佐4-2-1）

◆時間：午後2時30分～

※参加希望者は、岐阜県歴史資料保存協会 HP よりお申し込みください。又は、当日会場受付へお出でください。

（定員148名になり次第、受付を終了します）

* 1時30分～2時20分は、県歴史資料保存協会の実践発表（大野町）を行っています。